



内閣総理大臣賞(2件)

内閣総理大臣賞 「個人・グループ・学校」分野	受賞者名 深浦町立岩崎中学校 取組の実践場所 青森県西津軽郡深浦町 受賞テーマ 世界遺産白神山地の麓で、環境教育と地域貢献のサイクル形成を目指す リサイクル活動
----------------------------------	--

受賞者は過疎化、少子高齢化が課題となっている青森県深浦町において、30年以上にわたり保護者や様々な地域主体と共にリサイクル活動を継続、浸透させ、地域のごみの減量化や3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に貢献してきた。近年では、リサイクル活動で得た収益金の一部を、高齢化・担い手不足等により衰退していた十二湖太鼓や神楽などの郷土芸能の承継に役立てるだけでなく、その成果を学校行事、十二湖山開き、観光客の出迎え演奏などで披露し、郷土芸能の振興にも努めている。さらに同収益金の一部は、地域の高齢者を文化祭に招待し、交流することにも役立て、高齢者福祉の増進にも努めている。

また、同校は東側に世界遺産白神山地、西側には日本海が位置する自然環境に恵まれた地域であり、その特色を活かし、白神山地のブナ林の保全・調査、小学校や地域と合同で海岸清掃など、地域の環境保全にも努めている。

これらの活動を通じ、同校は生徒の環境配慮行動の育成だけでなく、地域への愛着や参加意識を地域と共に育みながら、過疎化、少子高齢化が進行する地域における持続可能な地域づくりに貢献している。

1. 資源ごみの回収

同校と保護者が中心となり、1989年にスタートした資源ごみの回収活動は次第に地域に定着し、30年間以上継続している。年2回の「リサイクル資源ごみ（古新聞・雑誌類・段ボール箱・空きビン等）回収日」には、学校・保護者・地域等が一体となり、学区内の各家庭で保管した資源ごみを回収している（写真1）。学区内の各家庭への周知・協力依頼は、町役場の協力を得てチラシを配布し、急な連絡が必要の際には防災無線で伝達している。回収日には、地域の方が各家庭の玄関前にごみ出しし、回収しやすいように協力してくれる。中には「子どもたちのために」、「子ども達が声を掛けて嬉しい」と倉庫に半年間古紙を保管し、楽しみに待つ高齢者も多くいる。高齢者のごみ出しが困難な場合は、生徒が声をかけながら支援している。高齢者とふれあい、感謝されることで生徒の自尊心や郷土への愛着が育まれ、地域とのつながりを深めている。

さらに、随時回収出来るように、学校の玄関前に古紙回収ボックスを設置している（写真2）。保護者や地域の人達がボックスに持ち込む際には、教員が鍵の開け閉めを担当し、ボックスにある程度たまると生徒がストックヤード（廃校校舎）に運んでいる（写真3）。



写真1 地域全体での資源ごみ回収
(年2回)



写真2 学校玄関前に設置している
古紙回収ボックス (随時受付)



写真3 廃校になった校舎を
ストックヤードとして活用

リサイクル活動で得た収益金の一部は、高齢化や人口減少の進行で衰退していた郷土芸能「十二湖太鼓」や「神楽」を生徒が承継するための活動資金（太鼓の修繕、衣装や備品の購入等）に役立てている。生徒達は地域の人達からから演奏を学び、その成果を学校の文化祭（写真4）、十二湖山開きの式典などの地域イベントや、観光シーズンに観光客を出迎えるために駅で演奏し（写真5）、地域内外に向けて郷土の伝統や魅力を発信している。

地域や観光客等から活動が評価されることで、生徒は自己肯定感を高め、郷土へ愛着を感じる気持ちを高めている。

その気持ちが次のリサイクル活動や地域貢献へ向かう原動力に繋がっている。



写真4 文化祭で地域の方を招いた神楽



写真5 観光客に向けて演奏する十二湖太鼓

さらに、リサイクルで得た収益金の一部は、活動を推進するために校門前に設置した看板や、文化祭へ高齢者を招待し、交流することにも役立てている。



写真6 活動を推進するための看板



写真7 文化祭への高齢者の招待

近年では近隣の小・中学校にて、同校の活動に協力したり、独自にリサイクル活動を始めたりするところもあり、周辺地域のごみ減量化・3R活動の推進にも良い影響を与えている。

同校は2年後に他の中学校と統合を予定しており、活動の継続は現在検討中である。

2. 文化祭のバザー

同校では、2019年より文化祭でバザーを実施し、地域のリユースを推進している。生徒会主体で計画、運用し、各家庭から約200点の様々な物品の提供を受け販売した。バザーで得た収益金は生徒会の活動資金だけでなく、深浦町社会福祉協議会へ寄附し、地域の福祉活動の増進に役立てている。



写真8 文化祭のバザー

3. 自然環境保護の取り組み（ブナ林の調査、海岸の清掃活動など）

同校は月に1回、地域の専門家の指導を受けながら、世界遺産「白神山地」のブナ林の保全・調査活動にも取り組んでいる。さらに年1回、小学校や地域と合同で海岸清掃を実施するなど、地域の環境保全にも努めている。



写真9 白神山地のブナ林調査



写真10 小中学校・地域と海岸清掃